

而して造船造機製罐部職工等、能奈度ヲ見ハニ同部ニハ前記石橋元
田一井ノ、外勤會員者甚多、而ハ須、木浦、一派、友愛、川口、電正人等同様
要求生徒ヲ招生スニ余程考慮シ居ルモノ、如ヘ山下、久其昭、
共スト品ノ所ニセシム、如シ

川崎造船兵庫分工場ニ於ニヤ開港区域内、一西村東、ア島サント紫田所太
郎、行政長、氏某才種、奉手走ン之ノカ楚生ヲ取ルル事ニ日以未シ
統キ運動ヲ大行シ四月ノ廿八日、三月、禁酒、行政才士名分工場下
田子路長ニ電文スニ甚大者（電文工月桂、一モ）ヲ本社ニ取次方
ニ依頼シ押前送ヘ未、同ア該社ヨリ一度傳若斐ヲ依頼シ引取メ
蘇ナリ

（七月廿九）

労働組合幹事會運動大會、木浦四日市、川崎、西宮、成志（大
阪方面）復、木純、一野、今井、西原、一力各、令大會決議ヲ携ヘ土日

午前十時、労動車ニシテ、神鋼製錫、鉄附、新潟、高田、川崎、兵庫役、久見
ノ西支那、大坂市政の諸事、並ヘアガタ工場ニシテ、統計
及労働組合の子公、紹介シコトハ割下、久見役、新潟役、西日本以予付取
此處ラニテ、又加賀、尼崎、大阪、對シ三木、兵庫役ハ答ヘ、「本件」美シ
テ、政府ニ於ニ種々御心ヤシ、アリト申ク、其社ニ於ニニ因核
一見也ヨリナシ然考、余施下ケト思つ故ニ、今直ナリ、四足承、確答ラ
ナシ難シ」と因会、約シ事、是詳上古セリ

前記文書、本日ハ午后二時過川崎造船所ニ、木浦、軍人役ヲ訪ヒ先ソ加ニ
大今レハ、速、急襲ヲ亦聞シ、余見テ申込マニテ、次第ヲ前提シ総帥的立候
總令、確認ヲ蒙、諸セシムシト之ニ對ニ、永留軍役、「限ウカスノハ」
絶対ニ拒絶シ相成リ、然ラバ今後、社内ニ設立セル電正人（川崎）
ハヤト其ジン、次第更復、勿ニ其す視候シ、然メスト猶ヒ結ヒ全
部、再ホド拒絶シテ、此乃體ニ二十